

丹波中学校だより

清流の辺

せい りゅう ほとり

平成28年7月7日(木)

No. 26

文責 丹波中学校長 梶原勝由

栽培活動(総合的な学習の時間) ～ 苗植え交流会・花植え交流会 ～

本校では、PTAや老人クラブの方とタイアップして栽培活動を推進しています。本年度も、種まき交流会を5月に行い、6月18日(土)には苗植え・舞茸伏せ込み作業を舞茸組合の方4名の指導の下、PTAの方総勢40名で行いました。また、校庭の枯れている木も伐採していただいたために広くなり、危険解消になりました。



7月6日(水)には老人クラブの方を招いて、花植え交流会を行いました。順調に生育した苗を一回り大きいサイズのプランターに植え替えました。(マリーゴールド・百日草・ミニひまわり・金蓮花・コキア) 12日にはラッピングをして一人暮らしをしている高齢者の方に配りに行きます。本当にありがとうございました。



県選手権柔道の部

6月26日(日)、小瀬武道館において、県選手権柔道大会があり、本校から3年生の嶋崎龍弥君が個人戦に出場しました。

1回戦は梨大付属中の生徒と対戦し勝利。2回戦は敷島中の生徒と対戦し敗退。自分の型で試合が進められたのでしょうか。気持ちで負けていなかったでしょうか。また、県総体が残っています。その日までに課題を克服して中学校最後の大会に臨んでほしいです。



今年の夏も泳ぐぞ! いざというときは救命だ!

6月15日(水)、プール開きに向けて、丹波小中学校合

同でプール清掃を行いました。最初は藻や泥だらけで大量のカエルやおたまじゃくしに戸惑っていましたが、みるみるうちに綺麗になっていきました。プール清掃を通して、自分たちが使う施設を丹精込めてきれいすることは心を磨くことにつながります。プールも心も磨けたでしょうか?



6月29日(水)にはプール開きを行い、安全祈願をしました。

夏休みは学力向上フォローアップ事業で午後から勉強する日がたくさんあって大変ですが、学力だけでなく、体力も向上させてください。

7月1日(金)5・6校時には、大月消防署丹波山小菅出張所の方を講師にお招きし、救急救命法の講習会を実施しました。心臓マッサージの方法やAEDの使い方、また実際に119番通報をした時にどのような対応をすれば良いのかなど実践的な内容をたくさん教えて頂きました。これからプールの授業や海や川遊びをする機会も増える季節になります。いざというときに大切な人の命を救える丹波中生であってほしいと思います。



私の好きな一冊「老人と海」ヘミングウェイ著

休みの日には、近所の川に行って鮎やマス等を釣り歩いている

た私が、親父の本棚からこの本を手にとったのは中学生の頃だと思ふ。

年老いたキューバの漁師のサンチャゴは、小さな帆かけ舟でメキシコ湾の沖に出て、一本釣りで大型魚を獲って暮らしを立てていた。あるとき数ヶ月にわたり一匹も釣れない不漁が続いたあと、助手なしの一人で沖に出たサンチャゴの針に、巨大なカジキが食いついた。過ぎた昔のことを思い出しながら4日にわたる孤独な死闘ののち、サンチャゴはカジキを仕留めるが、獲物が大きすぎて舟に引き上げられず、横に縛りつけて港へ戻ることにした。しかし傷ついた魚から流れる血の臭いにつられ、サンチャゴの舟はサメの群れに追跡される。舟に結びつけたカジキを執拗に襲い、肉を食いちぎるサメの群れと、老人は必死に闘う。しかしカジキの体は、襲撃のたびサメに喰いつくされていく。ようやく漁港にたどりついたとき、仕留めたカジキは巨大な骸骨になっていた。

ストーリーは、こんな内容であり、残念な話のようではあるが、一晩かかって一気に読み終わった後には、一種の清々しさが残ったのを覚えている。理由は読んでみればわかると思う。

(文責:鈴木康文先生)